

これからは自助・互助が必要な社会へ

# 「みんなで支えあう町づくり」

介護保険制度が大きく変わった今、町全体でできることは

この15年間で高齢化率が2.5倍に。今後は行政だけではなく、地域を含めた町全体で、高齢者を支えあう取り組みが必要とされています。

**約15年間で2.5倍**

平成28年4月現在、三芳町の高齢化率（65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合）は26.7%。介護保険が始まった平成12年は10.4%であり、2.5倍強上昇。平成37年には28.8%、高齢者人口の6割を後期高齢者（75歳以上）が占めると推定され、今後1人暮らしの高齢者世帯、高齢者夫婦世帯の増加、認知症高齢者の増加が見込まれています。

一方、生活の多様な支援ニーズへの対応が求められ、支援のために介護保険サービスがありますが、公的な介護サービスでは限界があります。

**支えあう町づくり**

高齢者が地域で生活を継続するためには、既存サービスに加え、NPO、民間企業、ボランティアなどの協力で生活支援サービスを提供することが必要とされています。

住みなれた地域での生活を継続するためには、医療・介護・予防・住まい・生活支援を包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）の構築が必要と

**自助・互助も含めた町全体での取り組み**

これから高齢者が地域で生活を継続するためには、介護保険サービスの公助のサービスのみになく、自助（自身や家族による対応）や互助（地域住民の取り組み等）も含め、三芳町全体で支えあう町づくりに取り組んでいくことが必要となります。

町では介護予防・生活支援の体制整備の取り組みとして「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」の配置、「協議体」を設置し、地域ネットワークの構築を進めていきます。協議体は介護予防や生活支援サービスを担うボランティア・社会福祉法人・民間企業などが参画し、平成28年7月に設置する予定です。



(C)2010 熊本県くまモン#熊本支援

# 三芳町が今できること。



熊本地震を受け、災害ボランティアとして三芳町職員が参加。第1班（2人）は4月23日～27日、4月28日～5月2日には第2班（3人）が被災地でボランティア活動を実施しました。

第1班として参加し、家屋が軒並み倒壊しているのを目の当たりにした道路交通課の木村竜彦は「地震はいつどこで起きるかわかりません。耐震改修や防災訓練などの重要性を実感し、三芳町の防災に活かしていきたい」と町長に現地報告をしました。

町では平成28年熊本地震災害義援金を三芳町役場福祉課、各公民館窓口に6月30日まで募金箱を設置しています。



(写真) ①第1班から第2班に引き継ぎ。②熊本市のボランティアセンター。③④益城町の被災状況。※②③④は第1班から提供写真。

## information

# よみ愛・読書のまち宣言

町では「よみ愛・読書のまち」を宣言します。文部科学省から「子ども読書活動優秀実践図書館」として2度表彰されるなど、三芳町の読書活動は伝統があり、評価されています。

武蔵野台地のみどり豊かな三芳町で、わたしたちは、手を携えて子どもの読書活動を推進しています。読書でつながる人の輪が広がっています。わたしたちは、読書の力を信じます。読書はわたしたちの創造力と心を豊かにし、心の扉を世界に開きます。本を読み合うことであたたかい絆も生まれます。わたしたちは、赤ちゃんからお年寄りまで誰もが生涯にわたり読書に親しみ、本を読み合う喜びを共有できるまちにします。本を読み合うことで人々が結びつき、愛と夢と知性にあふれた心豊かなまちとなることを目指し、ここに「よみ愛・読書のまち」を宣言します。

(平成28年4月26日議決)

1. 赤ちゃんを愛情豊かに育てる家庭での読み聞かせを大切にします。
1. おはなしを夢中で楽しめる幼児期に、絵本や本をたくさん読んであげます。
1. 朝読書（あさどく）・読み聞かせ・ブックトークで、読書に親しむ子どもを育てます。
1. 親子・きょうだい・夫婦・家族で、本を読み合う家読（うちどく）に取り組みます。
1. 毎月23日を「よみ愛・読書の日」と定め、家庭・学校・図書館・職場・地域で、読書や読み合いを楽しむ人の輪を広げます。

中央図書館 ☎ 258-6464



**町をあげてみんなで支えあうまちづくりフォーラム**

6/21 ☎  
13:30～16:30

▶会場：藤久保公民館ホール  
▶定員：150人※参加費無料・町民優先  
▶基調講演：「みんなで創る助け合いの社会」講師：堀田力氏（公益財団法人さわやか福祉財団会長・弁護士）

▶パネルディスカッション：  
「楽しく支え合い活動をするポイントを探る」

コーディネーター：堀田力 パネリスト：梶正己（生活支援ボランティアちよつと助け隊隊長）、菅原力（男性ボランティア三芳スケート会長）、福島都久子（見守り活動福祉新聞配達・福祉委員）

▶申込方法：地域包括支援センターに電話またはFAX（049-274-1107）。FAXは「6月21日フォーラム参加希望」とし、氏名・住所・FAX番号を記入ください。

☎ 地域包括支援センター ☎ 258-0019 ☎ 188・189

